

ALLwatch Tips

2011 年 7 月号
オムロンソフトウェア株式会社

「ALLwatch」は弊社が提供するモニタサービスの総称です。

M2Mセンターの新機能

弊社の提供いたします[M2Mセンター]に幾つかの新しい機能が追加されましたので紹介いたします。

尚これらの機能は監視装置の種別、センター契約の内容により利用できない場合もございますので詳しくは営業にお問い合わせください。

I. メール再送機能

従来、警報メールは1度送られると「再送」されませんでした。お客様より「警報メールに気が付かなかった時に確認が遅れたり、警報があったことが分からなかったりすることがある」のでメールを再送するようにしてほしい、というご要望が有りました。最近この機能が実装されましたので紹介いたします。

(1) 通報先設定画面を開きます。

[メール受信確認モードへ切替]をクリック

メール受信確認モードの画面を表示

(2) メール受信確認モードの画面が開いたら

- ① 再送する回数 ② 再送する時間間隔 ③ 再送するメールアドレス を記入して下さい。

担当者設定(通報グループNo.11)

コピー元の通報グループNo. 11 コピー

メールアドレスは既に登録されているアドレスを呼び出し[コピー]ボタンを押すとコピーされます。

アドレスの呼び出しボタン

② メールの送り先は5人まで設定できます。
登録されたどなたか一人がメールを受信すると再送は停止されます。

II. DI 状態時間測定

汎用入力の接点の動作状態(on 時間、off 時間)の値を計算出来ます。CSV ファイルでダウンロード可能です。

(1) 警報設定の画面で[DI 状態時間 CSV ダウンロード]をクリック

ここをクリック

(2) ダウンロードの画面が開いたらダウンロードの[条件]を設定して下さい。ダウンロードの期間をあまり長くするとタイムアウトとなりダウンロードが出来ない時がありますので注意して下さい。

(3) 条件を設定したら[ダウンロード]ボタンをクリック

ダウンロード条件を設定

(4) データがダウンロードされたらファイルの保存先を指定して下さい。

この案内に関するお問い合わせは、下記のフリーダイヤルにて承っております。



0120-053-606 (土・日・祝日を除く 9:30~17:30 (12:15~13:00 を除く))